

バングラデシュ経済ニュース (2015年10月)

マクロ経済 産業動向	<p>(1) 【2日 Daily Star 紙】 携帯電話によるインターネット接続者数が、8月で5,070万人に達した。昨年9月は4,080万人だったことから1年間で約1,000万人ほど増加したことになる。一方、Wimaxは同期間に6,000人ほど会員を減らし現在は16万人に、またISPsも利用者を15,000名減少させ130万人となった。</p> <p>(2) 【6日 Daily Star 紙】 5日、世界銀行は今年度のバングラデシュにおける経済成長率の予測値を、力強い国内消費、輸出の伸び及び政治的安定を理由に6.5%に上方修正した。世界銀行は今年の4月に今年度の経済成長率を6.2%とする予測を発表していた。</p> <p>(3) 【8日 Daily Star 紙】 7日、Tarana Halim 国務大臣（情報通信担当）は、来年2月から携帯電話における「番号ポータブル制度」を開始する意向を示した。これにより携帯電話の使用者は、30タカの手数料を支払えば携帯電話会社を変更する際に、以前の電話番号を引き続き使用することが可能となる。</p> <p>(4) 【8日 Daily Star 紙】 7日、IMFはバングラデシュの今年度の経済成長率の予想値を従前の6.5%から6.8%に上方修正した。バングラデシュ政府は今年度の経済成長率の目標を7%としており、Rhaman 中央銀行総裁は「このIMFの予測値と我々の目標に大きな差異はなく、7%の成長は達成可能だ」と述べた。</p> <p>(5) 【11日 Daily Star 紙】 ここ2～3年間、低迷を続けたセメント市場は今後、上向きに転じるだろう。バングラデシュのセメント製造業の生産能力は3,500万トンで、その4分の3はダッカやチッタゴン等の都市部に集中している。この為、今年1月～3月の政治不安は業界に深刻な影響を与えたが、今後パドマ橋や立体交差、港湾などの巨大建設プロジェクトが目白押しとなることから、今後5年間は毎年20～25%の成長が見込まれている。</p> <p>(6) 【14日 Daily Star 紙】 首都ダッカにおける人口増加やホテル、レストランなどの急増に伴い飲料水の需要が伸びている。現在、飲料水市場は25億カタから30億カタと想定され、この内70～80%は主要8～10社で占められている。</p> <p>(7) 【19日 Daily Star 紙】 水産局によれば2013/14年度の漁獲高は350万トンであり、2001/02</p>
---------------	---

	<p>年度の190万トンより大きく増加した。これは漁獲高の内290万トンを占める養殖が、高品質の飼料や新しい養殖技術の導入等により大きく増加した為である。現在では約470万ヘクタールで養殖が実施されている。</p> <p>(8) 【23日 Daily Star 紙】 22日、Boston Consulting Group は「Bangladesh: the Surging Consumer Market Nobody Saw Coming」と題した報告書を発表し、バングラデシュにおける富裕者及び中間所得層は近隣諸国よりも急速に増加するとの見通しを示した。同報告書は、バングラデシュにおける富裕者と中間所得層はインドネシア（年率7.8%）やミャンマー（同7.9%）、タイ（同4.9%）よりも高い年率10.5%で増加すると予想している。</p>
金融・物価・為替	<p>(1) 【7日 Daily Star 紙】 ジュート製品の原料である生ジュートの値段が上昇しており、ジュート製品の輸出への影響が懸念される。高品質の生ジュートは1 maund (=37kg) あたり8月末は1,800タカだったが、9月末は2,100タカまで値上がりしている。これは雨季の長雨の影響により、今年のジュート生産量が去年よりも40万bale(1bale=182kg)少ない600万baleに留まる見込みの為である。</p> <p>(2) 【7日 Daily Star 紙】 9月の物価上昇率は6.24%となり、前月より0.07%ほど増加した。食料部門の物価上昇率は0.14%下落して5.92%だった一方、非食料部門は0.38%増加し6.73%となった。中央銀行の担当者は「イード時における消費の増加が物価上昇に結び付いた」と述べた。</p>
投資	<p>(1) 【1日 Daily Star 紙】 9月30日、バングラデシュにおけるCompetitiveness Indexが発表された。主要な6課題（インフラ整備、汚職、非効率な官僚機構、政治的不安定、金融サービス、頻繁な政策変更）のスコアは前年と変化がなく、投資環境の改善は見られなかった。</p> <p>(2) 【29日 Financial Express 紙】 28日、世界銀行は「Doing Business Report 2016」を発表し、この中でバングラデシュは189ヶ国中174位であった。昨年の172位から2つ順位を下げた形。現地エコノミストは「この低い順位は“起業”や“契約履行”、“不動産登録”など政府の脆弱なガバナンスに起因する問題が足を引っ張った結果である」と述べた。</p>
貿易	<p>(1) 【6日 Daily Star 紙】 もし環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）が締結されたら、バングラデシュの縫製品の競争力は削がれることになるだろう。現在アメリカ向けバングラデシュ製品は15.62%の関税が掛かっている一方、ベトナム製品には8.38%が掛かっている。TPP発効後はベトナム製品は無</p>

	<p>関税でアメリカ市場に供給されることが想定される為、バングラデシュにとって不利な状況となるだろう。</p> <p>(2) 【9日 Daily Star 紙】 2014/15 年度（2014 年 7 月～2015 年 6 月）におけるエビの輸出高は 44,278 トンで前年度より 7.05%下落した。これは①インド、タイ、ベトナムなど他の生産国による供給量の増加及び②欧州経済の景気回復の遅れによる需要低迷が影響した結果。実際、エビの輸出価格は前年度の 1 ポンド (=0.45kg) 当たり 5.85 ドルから 4.07 ドルまで下落している。</p> <p>(3) 【15日 Financial Express 紙】 2014/15 年度（2014 年 7 月～2015 年 6 月）の尿素肥料の輸入量は、180 万トンに上り過去最高を記録した。これは尿素肥料を製造する国内の主要 6 社の内、5 社がガス不足により稼働停止となっている為である。一方、国内工場での尿素肥料の製造原価は 1 キロ当たり 12 タカであるのに対し、輸入価格は 1 キロ当たり 30 タカと高額である。</p> <p>(4) 【16日 Daily Star 紙】 今年度当初 2 か月間（2015 年 7 月～8 月）の貿易赤字は、6 億 300 万ドルとなり前年同期比で 40%近く減少した。これは石油価格の下落を背景に輸入額が前年同期比で 2.99%下落した一方、輸出額は 4.53%増加した為である。</p>
雇用問題 海外出稼ぎ 社会保障	<p>(1) 【11日 Daily Star 紙】 9 日、Kim 世銀総裁はペルーで開催された総会において「バングラデシュが、もし労働者に占める女性の割合を現行の 34%から男性並みの 82%まで引き上げることが出来たら、GDP を 1.8%押し上げる効果が得られるだろう」と述べた。</p>
対日関係 日本企業	<p>(1) 【22日 Financial Express 紙】 新しく導入された情報処理技術者試験に合格した 21 名の IT 技術者が最近、日系 IT 企業に採用された。2013 年から 2015 年の間に合計 83 名の IT 技術者が同試験を合格しており、同試験はバングラデシュの IT 技術者にとって世界市場への登竜門となるだろう。</p>
社会	<p>(1) 【3日 Daily Star 紙】 今年 1 月～9 月のデング熱の患者数は 1,930 名に上り、9 年ぶりの高い水準となった。医療従事者は「長引く雨季と高温多湿の気候が、デング熱を媒介する蚊の繁殖に最適な環境を提供することに繋がった」と述べた。</p> <p>(2) 【4日 Daily Star 紙】 3 日、バングラデシュ北西部のロングプールで日本人（星邦夫氏、66 歳）が何者かによって殺害された。星氏は午前 10 時頃リキシャーで移動中に、バイクに乗った 2 名の若者から 3 発の銃弾が浴びせられた。</p>

	<p>(3) 【20日 Daily Star 紙】</p> <p>19日、WHOが発表した報告書（Global Status Report on Road Safety 2015）によれば、バングラデシュの交通事故死亡者数は21,316名（2012年）であり、この内歩行者が32%と最も多かった。この歩行者の死亡率は全世界平均より10%以上も高い水準。</p>
--	--

(了)